

## 特定非営利活動法人〇〇〇〇総会議事録【記載例】

(※議長が理事長の場合)

- 1 日 時 令和 年 月 日 〇〇時～〇〇時
- 2 場 所 埼玉県〇〇市△△町〇〇番地 〇〇会館内
- 3 正会員の現在数 人
- 4 出席者数 人 (うち書面による出席者 人)
- 5 審議事項

- (1) 議長及び議事録署名人の選任について
- (2) 建物賃貸借契約について
- (3) 特別代理人選任申請について

### 6 議事の経過の概要及び議決の結果

- (1) 議長及び議事録署名人の選任について

議長について、理事長◎◎◎◎が選任された。議事録署名人について、○△○△と○◇○◇の2名が選任された。

- (2) 建物賃貸借契約について

理事△△△△は発言し、本法人が新たに使用する事務所の土地建物は、理事長◎◎◎◎の個人所有であるため、理事長◎◎◎◎を貸主、本法人を借主とする賃貸借契約を締結したい旨を提案した。さらに、賃料の算定根拠等について説明を行った。

議長は発言し、この契約については、私は利害関係人にあたるため、審議に加わることはできないので、本議案については仮議長を選任し議事を委任したいと述べ、会議室から退室した。

Aは発言し、Bを仮議長に推したいとの提案があり、Bを除く全員で審議した結果、一同異議なく承認した。またBも仮議長の就任を承諾した。

仮議長は発言し、先程、理事△△△△から発言のあった件について、これを一同に諮ったところ、全会一致で承認した。(異議があった場合はその旨を記載すること。)

- (3) 特別代理人選任申請について

理事△△△△は、前号議案の承認に伴い、貸主◎◎◎◎は本法人の理事長の地位にあり、この契約の締結は利益相反する事項であるから、この事項について◎◎◎◎は本法人の代表権を有しない、したがって特定非営利活動促進法第十七条の四の規定に基づき、特別代理人を選任する必要がある旨を述べた。

仮議長はこれを受け、慎重協議した結果、全会一致をもって次のとおり特別代理人候補者を選任した。

氏名

住所

仮議長は、この候補者をもって埼玉県知事に特別代理人選任の申請をすることを一同に諮ったところ、全会一致でこれを承認した。

なお、被選任者は、埼玉県知事の選任を条件に、その就任を承諾した。

審議が終了したので仮議長は退任し、議長は会議室に戻った。

以上、この議事録が正確であることを証します。

令和 年 月 日

議 長

(印)

議事録署名人

(印)

同

(印)

(備考) <-以下、申請の際は削除

- 1 用紙の大きさ 日本工業規格A列4番
- 2 3で、書面表決者がある場合は、その旨を明らかにして数を区分して記載してください。
- 3 定款に定められた方法による議長及び議事録署名人の署名押印又は記名押印が必要です。
- 4 謄本を提出する場合は、事務所に備え置く原本をコピーし、提出してください。
- 5 原本を提出いただいても構いませんが、その場合、原本は返却されません。